

地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同
地球環境変化の人的側面（HD）分科会（第24期・第9回）
議事要旨

1. 日時：令和元年 11 月 10 日（日）10:00~12:00
2. 会場：日本学術会議 6-A 号室
3. 出席者：氷見山幸夫（委員長）、阿部健一、石川義孝、岡本耕平、近藤昭彦、櫻井武司、篠田雅人、
吉田謙太郎、亀山康子
（欠席：城山英明、春山成子、山口しのぶ、山田高敬）
4. 配布資料
 - ・前回、前々回議事要旨
 - ・シンポジウムポスター
5. 議事
 - (1) 前回、前々回議事要旨の確認
確認した。
 - (2) 公開シンポジウムの最終打ち合わせ
 - ・台風により開催が一月遅れたため出席できなくなった講演者等がいたので、それに伴うプログラムの変更を議論した。ディスカッションの司会は氷見山、閉会挨拶は石川が担当、演者不在となった1件の講演の時間は他の講演で活用することとなった。
 - ・各講演予定者が講演内容の概要を紹介し、意見交換をした。
 - (3) HD に関する国際的・国内的動向について
 - ・岡本委員より、名古屋大学 Future Earth Center について、地域を中心とした SDGs への取組に関するシンポジウムが紹介された。
 - ・氷見山委員長より、文理融合分野を標榜する地理学における人的側面(HD)研究の振興が、自然地理学が伝統的に強い中国、ロシア、旧東ヨーロッパ圏の国々で比較的順調に進んでいるとの見解が示された。
 - ・篠田委員より、砂漠化に関して IPCC 特別レポート climate change and land や IPBES のレポートについて紹介があった。どちらも SDGs に言及している。
 - (4) JpGU 2020 年大会 HD セッションについて
氷見山委員長より HD セッションを申請し受理された旨の報告とそれへの積極的な参加の要請があった。
 - (5) 今後の活動方針について
予算次第ではあるものの、年度内に1回、来年度に2回分科会を開催することを想定。来年度のうち1回はシンポジウムあるいは学術フォーラムと同日に実施。来年7~9月の週末に学術会議講堂を利用してシンポジウムを開催する場合には、2月末までに提案書を出さなくてはならない。今期提言を出すことは時間的に困難。単行本の出版を目指し、委員長はその案を次回の分科会で提示することとした。
 - (6) その他
次回の分科会2月18日（火）13時30分から15時30分まで